

平成28年度和歌山県文化賞

きくたに ひとし
菊谷 仁

住 所 大阪府吹田市
出身地 和歌山県伊都郡かつらぎ町
生 年 昭和25年

◎ 業績及び経歴

昭和25年かつらぎ町に生まれる。和歌山県立医科大学を卒業後、昭和54年に大阪大学大学院医学研究科にて医学博士を取得。その後、米国メモリアル・スローン・ケタリング癌研究所研究員、日本学術振興会奨励研究員、大阪大学細胞生体工学センター助教授などを経て、平成8年に大阪大学微生物病研究所教授に就任。平成28年からは、大阪大学名誉教授、同大学免疫学フロンティア研究センター寄附研究部門教授として教育、研究に従事している。

氏は大学院時代から今に至るまで一貫して、免疫反応調節機構の解明に取り組み、これまでに数多くの優れた論文を発表している。特に、CD23やCD40などのリンパ球機能分子の抗体産生における役割の解明に加え、多くのセマフォリンファミリー分子が免疫反応の様々な局面で機能していることなどを発見し、免疫学の進展に大きく貢献した。現在も、アレルギー疾患や自己免疫疾患における病原性リンパ球の出現機構の解明を目指し、精力的に研究を行っている。

このような研究成果が評価され、平成16年には「リンパ球機能分子群による免疫制御機構に関する研究」で持田記念学術賞を受賞する。また、平成21年には「セマフォリン分子群による免疫制御機構の研究」の業績が評価され、文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）を受賞している。

近年、花粉症、喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患やリウマチ性関節炎、全身性エリトマトーデスなどの自己免疫疾患の患者が増加傾向にある。これら免疫疾患は免疫反応の異常に起因しており、免疫反制御機構の解明が進み、新たな治療法の開発につながることを期待されている。氏の研究成果は、免疫学はもちろん、広く医学全般の進展に貢献しており、わが国の医学の発展に尽くした業績は計り知れない。

■ 現 在

大阪大学名誉教授
大阪大学免疫学フロンティア研究センター寄附研究部門教授

◆ 主な表彰歴等

平成16年 持田記念学術賞
平成21年 文部科学大臣表彰科学技術賞
(研究部門)